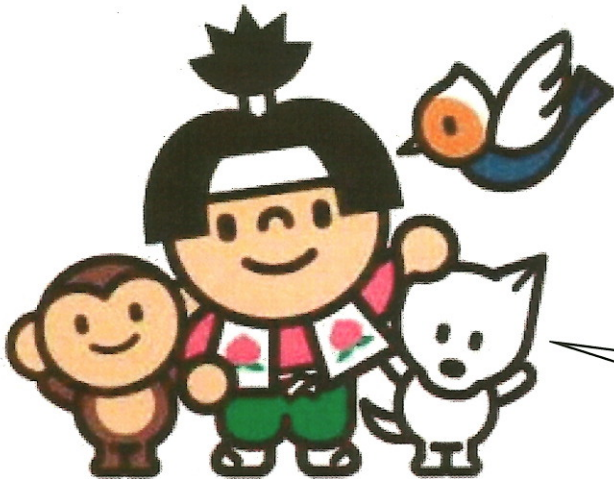


# ももたろう通信



発行日：平成30年1月12日  
発行：社会福祉法人つどいの家グループホーム  
発行責任者：飯田克也（グループホーム管理者）  
住所：〒981-8001  
                    仙台市泉区南光台東 1丁目 10-19  
連絡先：022-252-0348

私達は仲間と協力して  
生活しています

※ももたろう新聞の由来：仲間と助け合い、共に作る広報誌

12月初旬、「住み慣れたこの街で、暮らすこと」をテーマに開催された第9回千葉県障害者グループホーム大会に参加しました。千葉県の障害者グループホーム等支援事業について紹介したいと思います。千葉県では、平成17年度に全国に先駆けて、障害者グループホーム等支援事業を創設しました。県内12圏域（千葉市、船橋市、柏市を除く）に、「グループホーム等支援ワーカー」を配置して、障害のある方がその人らしく地域で暮らすことができるよう、様々なニーズに対応しています。障害者グループホーム等支援ワーカーの役割は、グループホーム等に対する相談支援、グループホームの新規開設支援、グループホーム相互の協力体制の整備（世話人研修会、入居者交流会等）、市町村・自立支援協議会・相談支援事業所等との連携体制の整備、グループホーム等の事業に関する情報収集・提供、グループホーム制度の普及・啓発…等々多岐にわたっています。千葉県では、グループホーム等で暮らしている方々は、4,700名（定員）を超えており（28年度末時点）、この5年間で、約1.5倍となっているそうです。入居者も、支援者も、事業者も、グループホームに関する相談ができる専門家「障害者グループホーム等支援ワーカー」が身近にいるということは、とても心強いことだと思います。他の自治体では、千葉県と同じように障害者グループホーム等支援ワーカーを配置することは、財政面等から厳しいかもしれません。国の施策が十分とは言えない現状を考えると、今後、グループホームがこれまでのように増えていくかどうかはとても不安です。

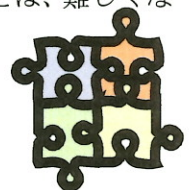


「チーバくん」



「むずび丸」

住まいの場としてのグループホームの普及や整備がなされるようにするためには、その地域独自の施策を考えていかねば、障害のある方の地域生活を進めていくことは、難しくなっているものと思われます。これからも、障害のある方が自分らしく住み慣れた街で暮らせるよう、多くの方々と協働しながら街を拓いていきたいと思っています。（グループホーム管理者 飯田克也）



## グループホーム紹介<にじいろ編>

にじいろの入居者を代表して今回はAさんのにじいろでの様子を紹介します。



にじいろに向かう送迎車に乗る時から、もう笑い声があふれるほど元気いっぱいなAさん。

帰宅してからも世話人や一緒に暮らしている仲間に笑顔で声をかけています。

そんなAさん、自室ではちゃぶ台の側に座り、お菓子を食べながら大好きな民謡などの番組を見ているときは、更に笑って過ごしています。

にじいろでの生活について、いくつか聞いてみました。

世話人:「にじいろは楽しいですか?」

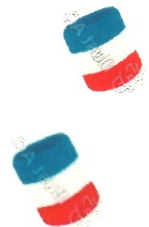
Aさん:(^-^)(笑顔でうなずいていました)

世話人:「にじいろのご飯はおいしいですか?」

Aさん:(^◇^)(笑顔でうなずいていました)

世話人:「最後に一言どうぞ!」

Aさん:ピタッ!(「楽しい!」の表現です)



まわりのみんなも笑顔にしてくれるAさん。にじいろのムードメーカーです。(宮本)



# つどいの家 25周年記念式典



11月18日(土)に行われた25周年式典に参加された職員から感想を伺いました!! Aさんは式典に参加してみて良かったこと、これからのつどいの家(ひこうき雲)についても語ってくれました!

式典にはね、懐かしい人たちがたくさんいて、会ってお話できて良かったよ～! ご飯も美味しかったし、やっぱり、みんなに会えたことが一番良かったね!

(前理事長に)花束も渡してきたんだよ～! 緊張したけど、ちゃんと渡せたからよかったね。

今のグループホームでの生活は、周りのみんなも世話人さんもいい人だからこれからもみんなと楽しく平和に暮らして生きたいな～。あと、宝くじを当てて、お風呂とトイレを改装して暮らして生きたいな(\*^^\*)

グループホームひこうき雲 Aさん

11月18日(土)に、ホテルメルパルク仙台にて「つどいの家 法人設立25周年記念式典」が開催されました。グループホームからも入居者さんが7名参加されました。また、県内外から多くの来賓が出席され祝って下さいました。ありがとうございました。

つどいの家の事業展開を振り返ると、短い期間で次々と新しい事業を立ち上げてきたことがわかります。しょうがいのある方が地域で生活するために必要な支援を行うという、法人の理念を実現するために、ご家族や職員が注いだ熱意と実行力に身が引き締まる思いがしました。シンポジウムでさまざまな課題もあげられましたが、映像で流された利用者さんの笑顔・夢を大切に、取り組んでいきたいと思っています。(加藤)



## ひかりはうす～秋保温泉外出～

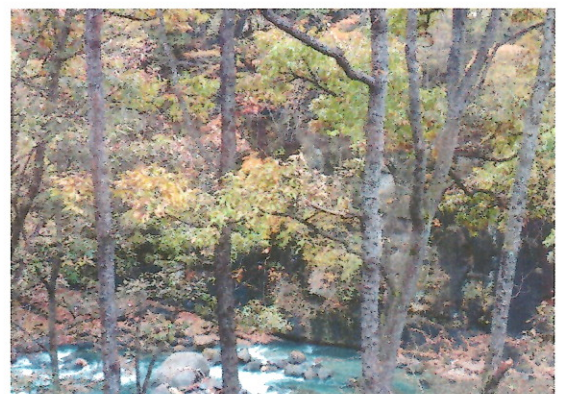
11月4日にひかりはうすの入居者5名と世話人4名で、「秋保リゾートホテルクレセント」へ行ってきました。毎年11月に行く日帰り温泉外出で、入居者さんたちは、楽しみにされています。

昼食は、いつも季節の食材が使われています。今回は、お刺身とキノコがたくさん入っている料理が出てきました。7～8品あるので量が多かったのですが、皆さんおいしそうに残さず食べていました。食事が運ばれるまで時間があつたため、Kさんは、デジカメで紅葉を撮影したり、Tさんは散歩したりしていました。(写真はKさん撮影です)

温泉は、露天風呂で、お湯の温度が高く、短い時間で体はポカポカです。長くはつかれませんが、お風呂の中で少し泳いでみたり、世話人とおしゃべりしたり、楽しむことができました。

入浴後は、ラウンジでジュースを飲みながら一休み。入居者さんは、ホテルの売店を見つけると、それぞれお土産を見て回り、『おいしそう。』『これは、イマイチ・・・』など試食をしながら、自分の好きな物を選んで買っていました。

皆さんの笑顔が多くみられ、帰ってからも『来年も来たいな。』と、楽しそうに話していました。(今野)



# グループホーム非常勤職員研修報告



今年度は、各グループホームの現場に行き研修を行いました。男性職員は、他の男性ホームで実際に介護実習を行い、女性職員は他の女性ホームの様子を見学し意見交換を行いました。

グループホームの職員の方々の研修報告を紹介致します。

## 〈グループホームひこうき雲研修〉

グループホーム研修にて、入居者の過ごし方や環境の工夫について学んで参りました。それぞれの特性に合わせて支援や健康面の変化、将来に向けての対応などの説明や、居室を見せて頂いた際にも、プライベートな部分な部分での配慮や工夫も見られました。実際に入居者の方と話も出来、表面だけでは知る事の出来ない心の機微にも、とても気配りされているのだと感心致しました。今後の支援に繋げて行ければと思います。(ひかりはうす職員 今野優子)

## 〈グループホームさくらはうす研修〉

今回他のグループホームをみて、世話人が利用者一人一人丁寧にに関わり、適切な距離感で支援して居心地の良い空間ができてると素直に感じた。今の自分を振り返ると反省する事が多いと感じた。夕食後の時間りビングで見られた利用者同士のコミュニケーションはお互いに笑顔で笑ってしまう場面もあった。プライベートな空間も大事だが、共有のスペースで楽しい時間を過ごすのもグループホームだからできるのではと感じた。今回は貴重な経験が出来たことに感謝である。(オキーノ職員 八鍬裕)

## 〈グループホームさくらはうす研修〉

グループホームさくらはうすに研修に行かせて頂きました。私はグループホームさくらはうすが出来た時に何回か宿直に行った事がありましたが、建物も変わり昔のイメージとは違いそれ以来のさくらはうすでした。入居者さんの名前や顔などは覚えていましたが昔のイメージとは違いました。夕方から夕食後を入居者さんのペースで過ごされていると感じました。研修をする事で他のホームの職員、入居者さんと関わって勉強になり、自分を見つめ直す機会になりました。(オキーノ職員 猪苗代宏)

## 〈グループホームひかりはうす研修〉

10月21日、GH研修でひかりはうすを訪問しました。初めて知る利用者の方の普段の様子や、サポートする上での工夫に驚いたり共感して、有意義な時間になったと思います。机に向っての勉強会も大事ですが、実際に見て学ぶ事の大切さを改めて感じる研修でした。(ひこうき雲職員 青田由紀子)

## 《編集後記》

新年明けましておめでとうございます。スタッフ一同、心から新年のお祝いを申し上げます。本年も引き続き「ももたろう通信」を発行し、より充実した内容を皆様に提供出来るよう、職員一同努力していきます。

まだまだ肌寒い日が続きますが、体調には充分にお気を付けてお過ごし下さい。

(高階)

